

第3期 札幌市市民まちづくり活動促進基本計画

基本目標 1

『参加促進』

市民まちづくり活動に対する理解と幅広い分野への参加の促進

基本施策 ・主な事業	1-1 幅広い市民まちづくり活動への参加の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・メルマガ、HP、SNSなどを活用した市民まちづくり活動の情報発信 ・さぽーとほっと基金におけるクリック募金の整備や寄付つき商品の拡充 ・NPO や任意団体などが行う市民まちづくり活動への体験事業 など
	1-2 地域コミュニティ活動の活性化に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ等を通じた地区防災計画の作成 ・各種媒体（CM・SNS・リーフレットなど）による町内会の広報活動 など

成果指標 達成状況	参加状況	町内会加入
	市民まちづくり活動に参加している人の割合※	町内会加入率
平成29年度実績	83.1%	70.83%
平成30年度実績	81.9%	70.26%
令和元年度実績	89.0%	69.79%
令和2年度実績	87.2%	69.53%
令和3年度実績	—	—
令和4年度実績	—	—
令和5年度目標	95.0%	71.0%

※ 指標達成度調査業務(事業の効果に関する市民意識調査)報告書より

令和2年度 主な取組結果	<p>●地域活動の担い手を育成するイベントを開催</p> <p>小学生を対象に小学校の授業や児童会館の日常遊びの一環としてまちづくりゲーム(通称:MaG)を活用し、まちづくり活動を知ってもらった他、中学生はまちづくり活動を行っている大学生との意見交換会をリモートで開催。高校生はコロナ禍において地域活動する方々へ感謝・応援メッセージを発信し、大学生などの若者はまちづくり活動をテーマとしたイベントの企画・運営するなど、子ども・若者等が次世代の地域活動の担い手となるべく、地域活動への参加機会を創出した。</p>
令和3年度 主な取組計画	<p>●まちづくり活動スタートアップ講座(地域まちづくり人材育成事業)の開催</p> <p>まちづくり活動団体の思いや取組に触れるなど、まちづくり活動への興味、関心を喚起する内容のオンラインセミナーを実施し、市民のまちづくり活動への参加促進を図る。※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、まちづくり活動団体への訪問等の体験プログラムは実施しない。</p>

第3期 札幌市市民まちづくり活動促進基本計画

基本目標 2

『運営体制強化』

市民まちづくり活動団体の運営体制の強化や活動に対する支援

基本施策 ・主な事業	2-1 市民まちづくり活動団体に対する拠点施設（市民活動サポートセンター、まちづくりセンター等）での支援や幅広い市民まちづくり活動への参加促進 ・市民活動サポートセンターによる活動団体や活動に取り組みたい市民への相談業務 ・まちづくりセンターによる地域との連携や様々なまちづくり活動の推進 など
	2-2 市民まちづくり活動団体の組織力強化に資する人材の育成 ・地域の多様な課題の解決を促進するための人材育成 ・子どもや若者の参加を促すため、世代に応じた体験・研修などを実施 など
	2-3 市民まちづくり活動団体の活動資金の調達のための支援 ・さぽーとほっと基金、地域福祉振興助成金などによる団体への事業支援 ・会計や資金調達などの研修の実施、メルマガ等による各種助成金の情報提供 など
	2-4 市民まちづくり活動団体の活動の場の確保に向けた支援 ・市民集会施設の新築・改築・借上げなどに対する補助や融資のあっせん ・地域の遊休スペースなどを新たな活動の場とするための整備・改修の支援 など

成果指標 達成状況	団体登録数	内訳（参考）		
	まちづくり活動情報サポート サイトへの登録団体数 <small>※右の団体数の合計から重複を除いたもの</small>	市民活動サポ ートセンター 登録団体	さぽーと ほっと基金 登録団体	市内の 認証NPO 法人数
平成29年度実績	2,758 団体	1,849	535	947
平成30年度実績	2,755 団体	1,825	587	956
令和元年度実績	2,713 団体	1,930	327	943
令和2年度実績	2,511 団体	1,707	325	928
令和3年度実績	—	—	—	—
令和4年度実績	—	—	—	—
令和5年度目標	3,000 団体			

令和2年度 主な取組結果	●サポーター養成講座（地域まちづくり人材育成事業）の開催 地域課題を解決できるスキルをもった人材を育成するためのオンラインセミナーを実施した。 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実践機会の提供（まちづくり活動団体への派遣）は未実施。オンラインセミナー（コーディネート力養成セミナー）の開催：講義・演習の受講者 19 名、講義動画のみ視聴された方 25 名
令和3年度 主な取組計画	●NPO インターンシップの実施（市民活動サポートセンターにおける支援） 市民活動団体と協働し、次世代の活動を担う若者に対し、市民活動の啓発及び体験を目的とするもので、実際に市民活動団体の活動に触れ、学ぶ機会を提供し、社会参加意識の醸成と社会課題への気づきを得るきっかけとする。

第3期 札幌市市民まちづくり活動促進基本計画


基本目標 3

『連携促進』

市民まちづくり活動団体間の連携の促進

基本施策 ・主な事業	3-1 多様な市民まちづくり活動団体間の連携に向けた支援 ・NPOと町内会とのマッチング支援 ・団体間の交流サロンの開催 ・商店街と町内会、NPO、大学等による地域課題解決に向けた連携 など
	3-2 企業の社会貢献活動の促進 ・さっぽろまちづくりパートナー協定、地域のまちづくり活動を行う企業の認定制度 など

成果指標 達成状況	連携団体数	企業参加活動数
	連携している市民まちづくり活動団体の割合	企業のまちづくり活動への参加数（のべ）
平成29年度実績	—	14,088社
平成30年度実績	48.7%	13,989社
令和元年度実績	—	15,413社
令和2年度実績	—	14,306社
令和3年度実績	—	—
令和4年度実績	—	—
令和5年度目標	70.0%	20,700社

令和2年度 主な取組結果	<p>●地域課題解決のためのネットワーク構築事業 NPOと町内会との連携事業の補助及びNPOと地域とのマッチング支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク事業：採択件数4件（採択事業：札幌地区の介護予防・日常生活支援に資する地域コミュニティ構築事業、さとやまクラブ・人と里、まちの活性化計画 など） 地域連携促進事業：0件 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、未実施。 <p>●さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度 地域のまちづくり活動に積極的に取り組む企業を認定する制度。 1年度間において、従業員数100人未満の企業では5活動、100人以上の企業では7活動といった一定の基準以上の活動を行った場合に「スマイル企業」として認定。</p> <p>認定証や認定マークを付与するほか、市ホームページ等で、企業のまちづくり活動を広報した。（認定企業：47社（令和3年3月31日時点））</p>	
令和3年度 主な取組計画	<p>●地域課題解決のためのネットワーク構築事業 ネットワーク事業：令和2年度の採択事業を継続実施予定 地域連携促進事業：新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、実施見送り</p> <p>●さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度 令和2年度と同程度で継続実施予定</p>	

市民まちづくり活動促進テーブルの開催実績等

1 令和2年度

(1) 本部委員会（例年1回程度開催）

	日 時	主な内容
	令和2年5月25日 ※	(1) 部会委員の決定及び部会長の指名について (2) さぼーとほっと基金の助成に関して (3) さぼーとほっと基金における新テーマ基金（新型コロナウイルス感染症対策市民活動）枠の設置 (4) 新型コロナウイルス感染症対策市民活動助成事業の審査の仕組み及び助成率等について (5) さぼーとほっと基金の令和2年度後期公募の中止
1	令和2年11月6日	(1) 第3期市民まちづくり活動促進基本計画の概要及び進捗について (2) 市民まちづくり活動促進テーブルの開催実績等について (3) さぼーとほっと基金の概況について

※5月25日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、メールにて議題への承諾・意見等を求めた。

(2) 事業検討部会

	日 時	主な内容
1	令和3年3月26日	(1) R3年度予算について (2) 第3期市民まちづくり活動促進基本計画について（R2取組結果・R3取組計画） (3) 新型コロナウイルス感染症に伴う事業等への影響及び対応等について

(3) 審査部会

	日 時	主な内容
1	令和2年4月4日	前期公募分野・冠基金・テーマ指定助成審査（交付決定） 64件 スタートアップ助成審査（交付決定） 7件
2	令和2年4月10日～20日	団体指定助成審査 7件
3	令和2年5月8日～20日	団体指定助成審査 4件
4	令和2年6月10日～22日	団体指定助成審査 10件
5	令和2年7月10日～20日	団体指定助成審査 1件
6	令和2年8月7日～20日	団体指定助成審査 3件

7	令和2年9月10日～23日	団体指定助成審査 5件
8	令和2年10月9日～20日	団体指定助成審査 1件
9	令和2年11月10日～20日	団体指定助成審査 5件
10	令和2年12月10日～21日	団体指定助成審査 1件
11	令和3年1月8日～20日	団体指定助成審査 2件
12	令和3年1月28日	令和3年度前期助成について
13	令和3年3月10日～22日	団体指定助成審査 18件

※団体指定助成については書類審査を毎月10日～20日頃に行う。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止・縮小事業あり。

(4) 臨時審査部会

	日 時	主な内容
1	令和2年5月20日	臨時審査部会の設置および新型コロナウイルス感染症対策市民活動助成事業における審査基準について
2	令和2年6月12日	新型コロナウイルス感染症対策市民活動助成事業における公募審査 審査57件、交付決定29件
3	令和2年9月11日	新型コロナウイルス感染症対策市民活動助成の採択団体における事業内容の変更等について
4	令和3年1月15日	令和3年度における新型コロナウイルス感染症対策市民活動助成事業の実施について

2 令和3年度

(1) 本部委員会（例年1回程度開催）

	日 時	主な内容
1	令和3年5月 ※	(1) さぼーとほっと基金の概況について (2) 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会 R2事業報告について (3) 地域まちづくり人材育成事業 R2事業報告について (4) さぼーとほっと基金の助成に関して (5) さぼーとほっと基金の令和3年度後期公募の中止
2	令和3年12月1日 (本会)	(1) 第3期市民まちづくり活動促進基本計画について (R2取組結果・R3取組状況) (2) さぼーとほっと基金の概況について (3) 市民意識調査の結果について (4) 冠基金の活性化について (5) テーマ指定の今後のについて (6) 公募助成における不公平感・上限額について

※5月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期とし、メールにて議題への承諾・意見等を求めた他、一部資料を送付。

(2) 事業検討部会（例年 1 回程度）

	日 時	主な内容
1	令和 4 年 3 月（予定）	(1) 市民自治推進室 令和 3 年度予算状況について (2) 第 3 期市民まちづくり活動促進基本計画について (R 3 取組状況・R 4 取組計画)

(3) 審査部会

	日 時	主な内容
1	令和 3 年 4 月 9 日～20 日	団体指定助成審査 8 件
2	令和 3 年 4 月 10 日	前期公募分野・冠基金・テーマ指定助成審査 (交付決定) 65 件 スタートアップ助成審査 (交付決定) 2 件
3	令和 3 年 5 月 10 日～20 日	団体指定助成審査 7 件
4	令和 3 年 6 月 10 日～21 日	団体指定助成審査 3 件
5	令和 3 年 7 月 9 日～20 日	団体指定助成審査 4 件
6	令和 3 年 8 月 10 日～20 日	団体指定助成審査 1 件
7	令和 3 年 9 月 10 日～21 日	団体指定助成審査 6 件
8	令和 3 年 10 月 8 日～20 日	団体指定助成審査 2 件

※団体指定助成については書類審査を毎月 10 日～20 日頃に行う。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業の中止事業あり。

(4) 臨時審査部会

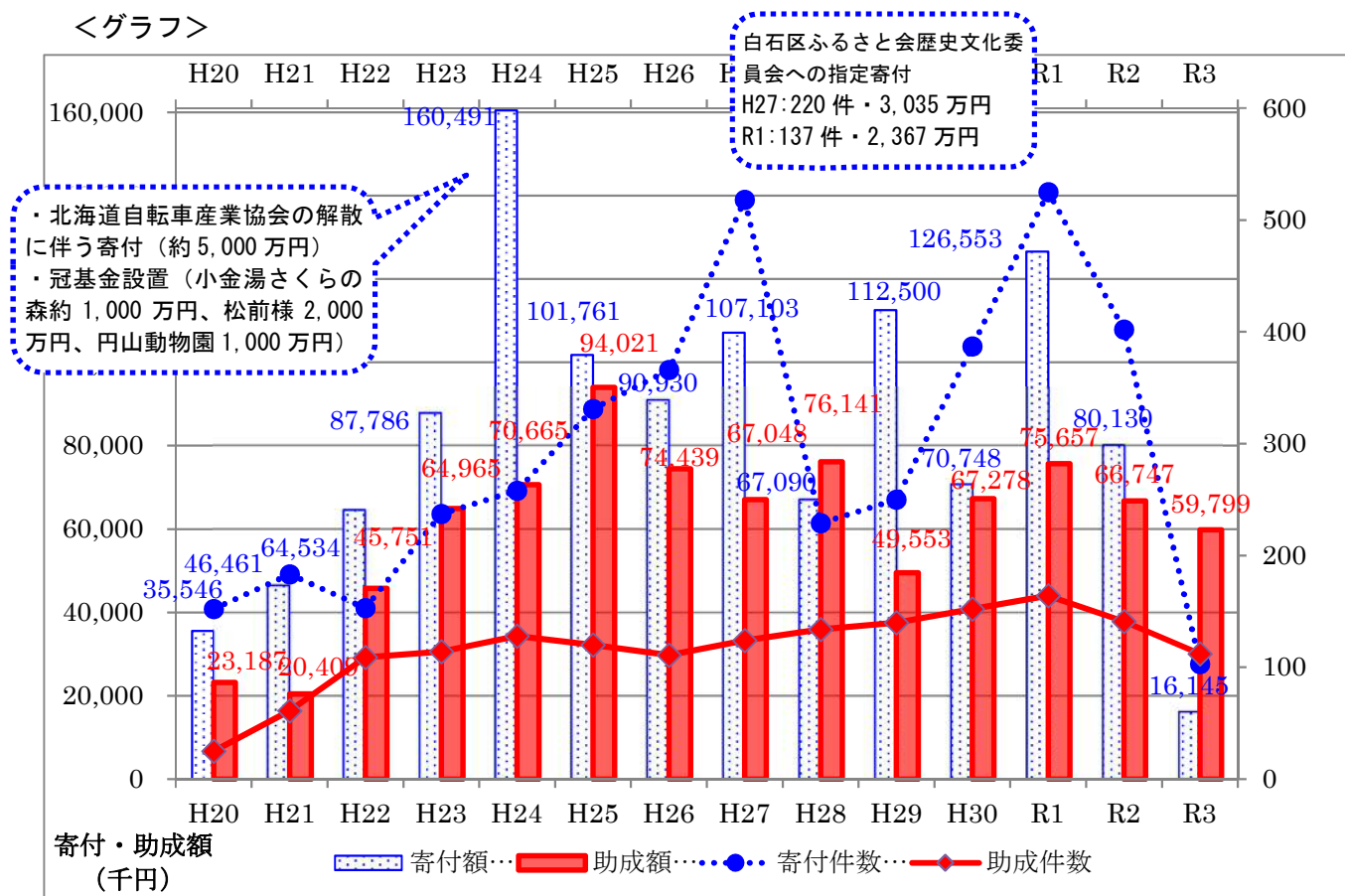
	日 時	主な内容
1	令和 3 年 4 月 26 日	(1) 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会 R 2 事業報告及び R 3 における活動計画について
2	令和 3 年 10 月 11 日	(1) 令和 3 年度さぼーとほっと基金前期助成事業の実施 状況について (2) 令和 3 年度における新型コロナウイルス感染症対策 市民活動助成事業の募集について

さぼーとほつと基金の概況について

＜寄付・助成実績一覧表＞（R3年度はR3.11.19時点）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	合計
寄付額 (千円)	35,546	46,461	64,534	87,786	160,491	101,761	90,930	107,103	67,090	112,500	70,748	126,553	80,130	16,145	1,167,778
寄付件数 (延べ)	152	183	153	237	258	331	366	518	229	250	387	525	402	103	4,094
寄付件数 (実数)	141	158	114	204	226	294	329	498	225	232	363	504	380	98	3,766
個人	27	76	38	65	79	75	86	111	76	110	234	279	292	66	1,614
企業・団体	114	82	76	139	147	219	243	387	145	122	129	225	88	32	2,148
助成額 (千円)	23,187	20,409	45,751	64,965	70,665	94,021	74,439	67,048	76,141	49,553	67,278	75,657	66,747	59,799	855,660
助成件数	25	61	109	114	128	120	111	124	134	140	152	164	141	112	1,635

＜グラフ＞



令和2年度は、寄付額で4,644万円・37%の減、助成額で891万円・12%の減と、ともに前年より減少しました。

寄付が減少したのは、新型コロナウイルス札幌ささえあい基金が令和2年6月に設置され、年度末までに約7億円が集まったことから、そちらへ寄付が流れたことが主な原因と考えられます。

助成が減少したのは、新型コロナの影響で事業を中止、あるいは縮小したケースが50件・3,175万円あったことが主な原因と考えられます。

■寄付における個人と企業・団体の割合



令和2年度は、個人からの寄付の割合が21.3ポイント増加しました。件数としては、個人は11件増、企業・団体は137件減となっています。

個人からの寄付が増えたのは、札幌市のふるさと納税返礼品が充実したことと、ふるさとチョイスに加えて楽天ふるさと納税からもインターネット経由で寄付できるようになったことが主な原因と考えられます。

企業・団体からの寄付が減ったのは、白石区ふるさと会歴史文化委員会への指定寄付が84件から7件に減ったことと、新型コロナウイルス札幌ささえあい基金に流れたことが主な原因と考えられます。

■クリック募金の実績

市民が手軽に寄付を行うことのできる仕組みとして、令和元年度中にまちづくり活動情報サポートサイト（通称：まちさぼ）内にクリック募金を構築し、令和2年4月から公開しています。1クリック5円、1か月のクリック上限数を2,000クリック（10,000円）と定め、さぼーとほっと基金や各協賛企業の社会貢献活動等を紹介し、寄付によるまちづくりの参加を促進するものです。

<クリック募金 令和2年度実績（R3.3.31時点）>

企業名	クリック数	金額
(株)太陽グループ	3,950	19,750円
HRMホールディングス(株)	3,869	19,345円

<クリック募金 令和3年度実績（R3.11.24時点）>

企業名	クリック数	金額
(株)太陽グループ	12,834	64,170円
HRMホールディングス(株)	10,312	51,560円
(株)水章工業（R3参加）	12,853	64,265円
札幌市管工事業協同組合（R3参加）	12,902	64,510円

■令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策市民活動助成事業の実績

交付決定事業数 29 事業

交付決定額 30,000,000 円

精算確定額 28,559,035 円 (▲1,440,965 円) 執行率 95.2%

※29 事業中、10 事業について、マスク・消毒液等の消耗品や事業に必要な物品が安価で入手できるようになった、施設等に声かけしたが感染症対策を理由に協力を得られず事業規模を縮小した等の理由から、実際にかかった事業費が交付決定額を下回り、助成金が一部返納となりました。なお、中止となった事業はありませんでした。

■令和3年度 さぼーとほっと基金前期公募の審査結果

申請事業数 73 事業

申請金額 20,248,050 円

交付決定事業数 67 事業

交付決定額 14,862,950 円

※審査の結果、不交付となったのが6 事業でした。うち4 事業は分野「学術、文化、芸術、スポーツの振興」で、2 事業はスタートアップ助成でした。

また、一部の分野及び冠基金に申請が集中し、募集枠を超えたことから、申請を下回る交付決定額となったのが25 事業でした。

令和3年度第1回市民意見調査の結果について

問 あなたは、さぽーとほっと基金を知っていますか。

回答	回答	回答(合算)
よく知っている	0.8%	14.4%
どのような内容の基金か、ある程度知っている	3.3%	
名称は知っているが、どのような基金の内容か知らない	10.3%	
知らない	83.8%	85.6%
無回答	1.8%	

※性別に大きな差はなく、60代以上は認知度が高かった。

＜参考その1＞平成28年度第1回市民意見調査結果

問 あなたは、さぽーとほっと基金を知っていましたか。

回答	回答	回答(合算)
どのような内容の基金か、ある程度知っていた	4.0%	11.8%
知っていたが、どのような基金か知らなかった	7.8%	
知らなかった	85.1%	88.2%
無回答	3.1%	

※性別に大きな差はなく、60代以上は認知度が高かった。

＜参考その2＞令和元年度インターネットアンケート調査結果

問 あなたは、さぽーとほっと基金を知っていますか。

回答	回答	回答(合算)
よく知っている	2.5%	22.7%
どのような内容の基金か、ある程度知っている	5.8%	
名称は知っているが、どのような基金の内容か知らない	14.4%	
知らない	77.3%	77.3%
無回答	0.0%	

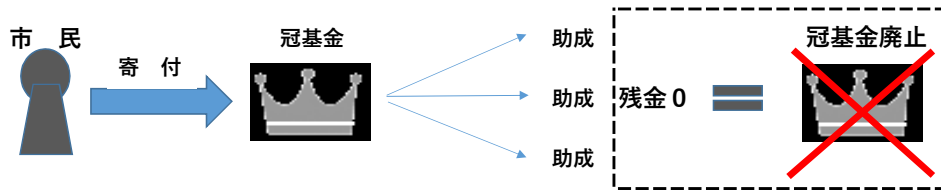
※性別は男性の方が認知度が高く、60代以上は認知度が高かった。

【市民意識調査とインターネットアンケートの違い】

項目	市民意識調査	インターネットアンケート
調査対象	郵送 5,000人 返送分[約5割]をカウント	インターネット 480人 480人になるまで集める
年代の区分け	10, 20, 30, 40, 50, 60代, 70代以上	30代以下, 40, 50, 60代以上
居住区による区分け	あり(人口比を考慮)	なし(偏りあり)

活用されていない冠基金の取扱いについて

課題：助成の実態がないまま冠基金の名前だけは残り続ける状況が散見される。



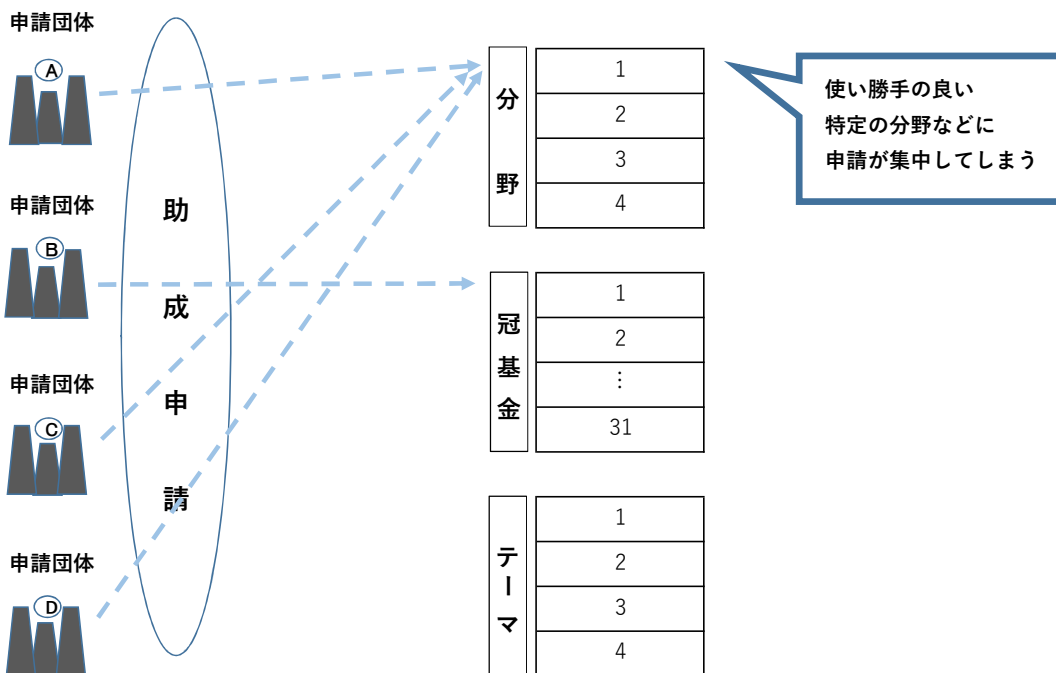
テーマ指定（東日本大震災被災者支援・北海道胆振東部地震被災者支援）の今後の取扱いについて

課題：特定の震災に関与した支援活動にしか使えないという制限があり、残金が積み上がっている状況がある。

テーマ	設定年月	残金 (R3. 11現在)
1. 東日本大震災被災者支援	H23. 4	8, 953千円
2. 北海道胆振東部地震被災者支援	H30. 9	4, 170千円
3. 新型コロナウイルス感染症対策 市民活動	R2. 5	6, 501千円
4. その他の災害被災者支援	R2. 2	0円

公募助成における、応募時の偏りなどについて

課題1：特定の分野や冠基金に応募が集中し、申請のない分野や冠基金の助成枠が活用されず残ってしまう。



課題2：助成累計額の上限について、交付決定額ではなく、確定額である精算時の額で累計すべきではないか。